

平成 27 年 12 月 吉日

報道機関各位

 国内史上**最大規模**の
 Red Faction!!

例年献血者が減少しやすい冬季の救世主となる!?

インGRESS アプリゲーム「Ingress」プレイヤー有志が献血 プレーヤーらが SNS 等のコミュニティを駆使し献血を広める

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターは、平成 28 年 1 月 2 日(土)から 1 月 24 日(日)の間、アプリゲーム「Ingress」プレイヤー有志が献血に協力するイベント「Red Faction」をサポートします。



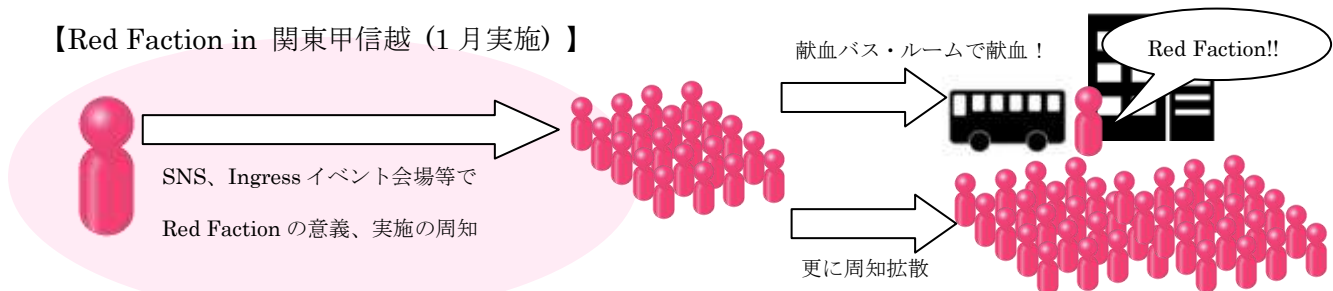
「Red Faction」は、世界中に多くのプレイヤーをもつアプリゲーム「Ingress」のプレイヤー自らが呼び掛け合い、集団献血を行うことで、平成 26 年 6 月 14 日の世界献血者デーにあわせて世界中で行われたのがはじまりです。その後は地域毎に行われることもあり、関東甲信越でも平成 27 年 6 月 14 日から 6 月 30 日まで行われ、多くの方に献血にご協力いただきました。

6 月に関東甲信越で実施した「Red Faction」は「Ingress」プレイヤーからの発案・企画によるもので、今回の「Red Faction」においても「年々減少する献血者を増加させる力になりたい」と「hirotakes (H.N)」さんをはじめとする数名の「Ingress」プレイヤーから申し出があったことにより、実現いたしました。

今回実施する「Red Faction」において、本イベントを企画した「hirotakes (H.N)」さんらは、「Ingress」の開発元である、元 Google 社内ベンチャーで現在独立し日本法人も設立した「Niantic, Inc.」様の協力のもと、関東甲信越地域の全献血ルームをポータル化（ゲーム内のチェックポイントとして登録）し、そのポータルを利用した様々なゲーム内ミッションの作成を予定しています。

また、当センターにおいても、6 月の実施の際は、受入の対象を献血ルームのみに限定していましたが、今回は規模を拡大し、献血バスなどの移動献血会場も受入の対象とするため、内容・規模ともに国内史上最大の「Red Faction」となる予定です。

【Red Faction in 関東甲信越（1 月実施）】

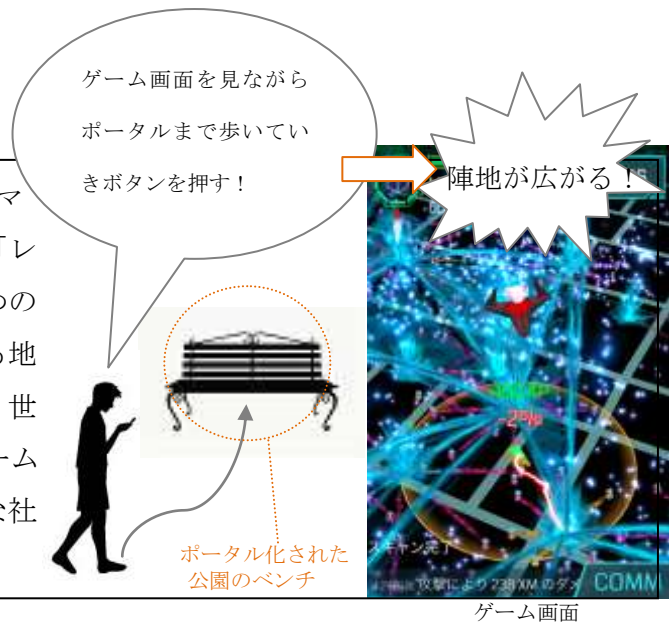


つきましては、彼ら「Ingress」プレイヤーの取組み及び献血の必要性について、取材いただき広く国民の皆さまへご紹介くださいますよう、お願い申し上げます。取材いただける場合は、別紙「取材申込書」に必要事項を記入のうえ FAX またはメールにて送付願います。

※「hirotakes(H.N)」さんら本イベント企画プレイヤー、「Niantic, Inc.」様へのインタビューも可能です。

■アプリゲーム「Ingress」とは■

「Niantic, Inc.」が開発元となっているARを活用したスマートフォン向けの位置情報ゲームである。プレイヤーは「レジスタンス（青色）」と「エンライテンド（緑色）」の2つの陣営（Faction）にわかれ、現実世界のポータルと呼ばれる地点を取り合い繋いでいくことで陣取り合戦を繰り広げる。世界中にプレイヤーがおり、SNS コミュニティを通じたゲーム外での活動も活発であることが特徴で、献血以外の様々な社会貢献活動も行っている。



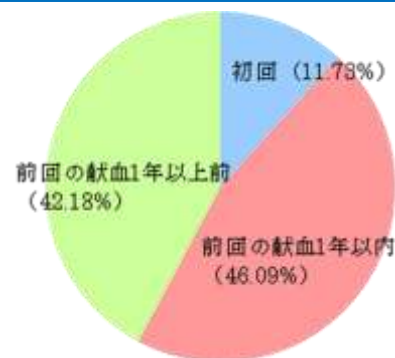
ゲーム画面

前回 Red Faction in 関東甲信越 実績（平成 27 年 6 月 14 日～30 日）

献血申込み者数：412 名 / 献血協力者数：358 名

前回実施した「Red Faction in 関東甲信越」では、献血協力者 358 名のうち、11.73%が初めての献血、42.18%が前回の献血から 1 年以上間隔があいており、半数以上が「Red Faction」をきっかけに初めて、または久しぶりに献血にご協力いただきました。

また、「Ingress」のゲーム内では 2 チームに分かれてプレイすることから、都内献血ルームには「『Red Faction』参加人数で相手チームには負けたくないから！」と笑顔でいらっしゃった方もおり、共通の趣味をもつ仲間同士で楽しみながら献血にご協力いただいていたようです。



【前回の Red Faction in 関東甲信越】
（献血実績）

参考



献血者数は年々減少傾向にあり、平成 26 年は 500 万人を割る実績となりました。現在は、約 500 万人の献血者の支えにより、輸血を必要とする医療機関へ血液製剤を届けられています。しかし、少子高齢化により輸血を必要とする人が多い 60 歳代以上の方が増え、献血可能年齢の人口自体が減少しています。これは、この先も安定した血液製剤の供給を続けるには、さらにより多くの方の継続的な献血へのご協力が必要であることを意味します。特に、冬季

は寒さのため外出を控えたり、体調を崩される方が多く、例年献血者が減少しやすい時期です。1 月という時期に本イベントを実施いただくことに感謝するとともに、献血者の増加に大変期待しております。

《本件にかかるお問い合わせ》

日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 総務部 企画課 加藤

Tel: 03-5534-7668 Fax: 03-5534-7532 E-mail: kikaku@ktks.bbc.jrc.or.jp



日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

年 月 日

総務部企画課 広報担当 あて

取材申込書

会社名	
部署名・担当者名	
住所	
電話	
E-mail	
【媒体名】	
【取材内容】 「Red Faction in 関東甲信越」企画プレイヤーへの取材→ 希望する ・ 希望しない 「Niantic, Inc.」への取材→ 希望する ・ 希望しない	
【放送・発刊予定日】	

以下の内容に同意して、上記取材を申し込みます。

1. 「献血」の意義と重要性を尊重します。
2. 当センター及び献血ルーム等の献血会場を撮影した場合、放送・掲載に際し、献血者のプライバシーに配慮し適切に処理を行います。また、血液バッグ等のバーコードにも適切な処理を行います。献血者個人のお名前呼び出しアナウンスは、放送の際、削除します。
3. 視聴者や読者から誤解を招くことが生じた際は、誠意をもって対応します。
4. 本取材にて得た情報は、今回の取材目的以外に当センターの許可なく流用しません。
5. 放映・発刊日を速やかに（遅くとも前日までに）お知らせします。

Fax 03-5534-7532

Mail : kikaku@kts.bbc.jrc.or.jp

